

1.概要

浦川下流第3号砂防堰堤



浦川は、長野県北安曇郡小谷村に位置し、白馬乗鞍岳を源流とする唐松沢と日本三大崩壊の一つである稗田山を抱える金山沢から形成され、姫川に合流する我国有数の荒廃河川です。

浦川流域の来馬層は、砂礫と頁岩の互層からなる極めて脆弱な地質で、地すべり及び崩壊による土砂災害を頻繁に起こしています。中でも明治44年の稗田山の大崩壊は下流の集落を埋没させ、多くの死者・行方不明者を出しました。

浦川流域の河床には、崩壊によって生じた土砂が大量に堆積し、堆積土砂は大雨等により流出し、河床低下や溪岸の浸食を起こしています。河床堆積物の二次移動の防止及び河床低下の抑制、溪岸の侵食防止を目的として、浦川下流第3号砂防堰堤は平成2年7月に着工し、平成5年7月に竣工しています。

施工の概要

浦川下流第3号堰堤は、浦川橋のすぐ下流に位置する重力式コンクリート堰堤です。

本堤(H=14m L=144m)及び副堤(H=6m L=112m)からなる砂防施設で、土砂流出を防いでいます。

諸元表

工作物名		浦川下流第3号砂防堰堤				着工竣工		平成2年7月13日～ 平成5年7月19日	
施行地先名		長野県北安曇郡小谷村				河川名		姫川水系浦川	
計画諸元	地質	流域面積	洪水流量	扨止量	貯砂量	調節量	河床勾配	貯砂勾配	
	来馬層		320 m ³ /s	104,000 m ³	61,450 m ³	6,000 m ³	1/10.7	1/22	
構造諸元	ダム・床固・護岸工	工種	型式	高(m)	長(m)	体積(m ³)	天端幅(m)	天端処理	天端標高(m)
		主ダム	重力式	14.5	144.0	12,185	3.00	ラバーシール	612.5
		第1副ダム	重力式	6.0	112.00	2,618	3.00	ガラスシール コンクリート	598.5
		側壁		7.5	23.00	466	0.50		598.5
		水叩				1,260			

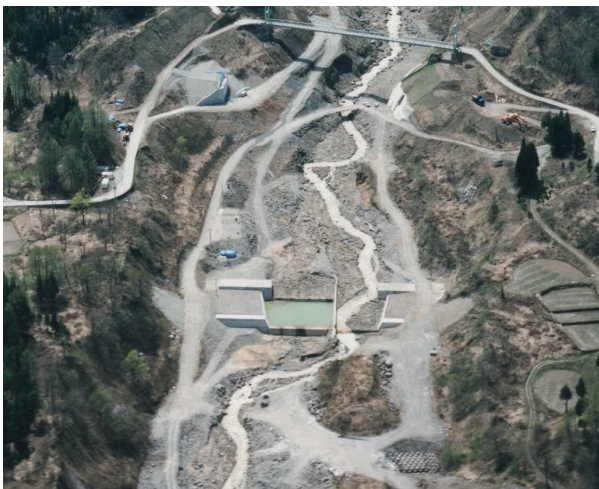
2. 施工状況等



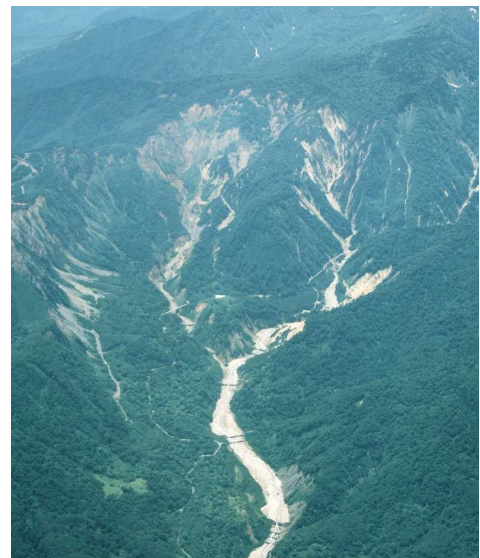
着工前



竣工



施工状況



稗田山崩壊地



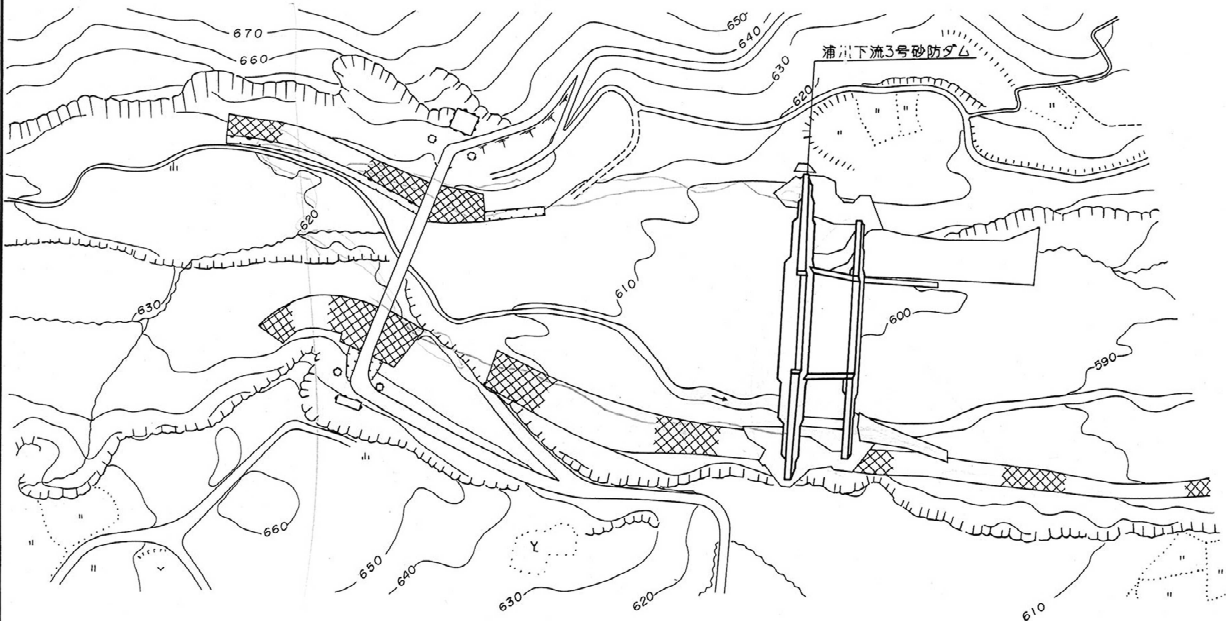
明治44年の大崩壊で土石流に埋め尽くされた浦川



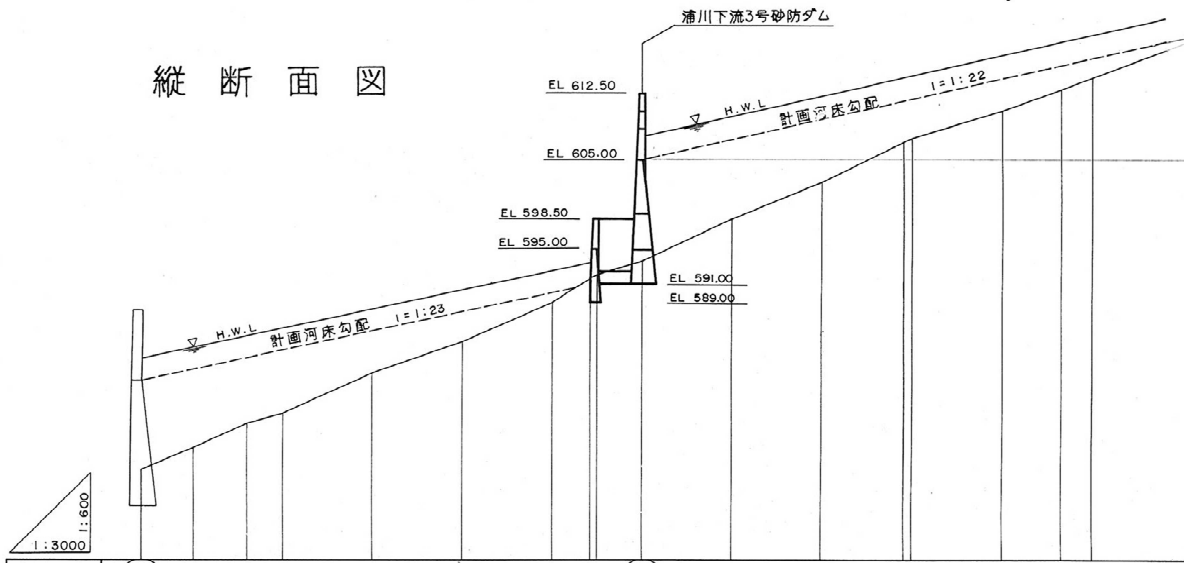
明治44年の大崩壊の土石流は姫川を塞ぎ止め、湛水により浸水した上流の下里瀬集落

3.構造図

平面図 S = 1 : 2500



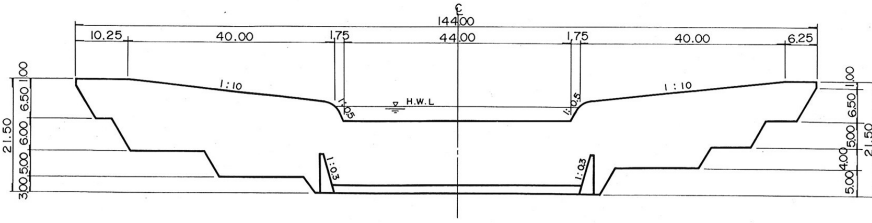
縦断面図



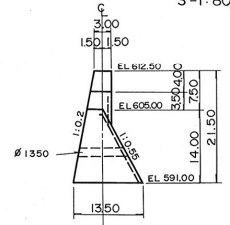
河計 床 勾 配 画	-590.00		1/23		605.00		1/22		607.00	
河床 勾 配			1/23		605.00		1/10.7		607.00	
最 高 河 床 高		572.47	575.22	576.35	580.69	594.46	598.02	592.19	593.53	607.51
地 盤 高										
追 加 距 離										
単 距 離	20.770	29.230	30.000	20.000	50.000	50.000	50.000	21.213	28.787	50.000
測 点	+20770	NO. 7	NO. 8	NO. 9	NO. 10	NO. 11	NO. 12	NO. 13	NO. 14	NO. 16
曲 線										

3.構造図

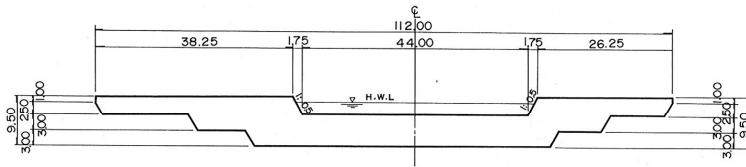
本ダム平面図 S=1:800



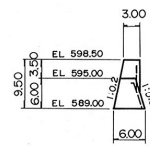
本ダム断面図 S=1:800



副ダム正面図 S=1:800



副ダム断面図 S=1:800

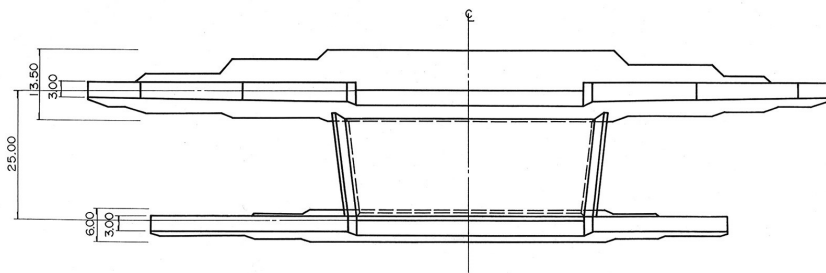


S=1:800

側壁断面図 S=1:800



平面図 S=1:800



本副間断面図 S=1:800

